

# 新年のよいあいさつ



大治町長  
村上 昌生

あけましておめでとうございます。  
町民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から町行政に温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、子育て支援においては、産後健診にかかる費用の一部助成、病児・病後児保育室の開設や東部児童クラブの新設、大治小学校の大規模改修工事を進めたほか、災害対策の施策として、砂子地内に整備を予定しております防災公園の基本設計や、災害対策の拠点施設となる「災害対策本部室」の整備等に取り組み、町民の福祉の向上と安心・安全なまちづくりに努めてまいりました。

さて、本年の主な取り組みといたしましては、引き続き、子育て支援、災害対策を含む安心・安全なまちづくりおよび高齢者福祉の各施策を推進してまいりたいと考えております。

子育て支援につきましては、妊娠期から子育て期まで切れ目なく子育てを支援するために、各種の相談、必要な情報提供等を行うてまいります。さらには、保育環境や子育て支援講座の充実を図ることと、安心して子どもを生み育てられる環境づくりにより一層力を

注いでまいります。

災害対策につきましては、砂子防災公園の整備を継続して進めてまいります。

また、準用河川円楽寺川の流下能力を向上させるための浚渫を計画的に進めるなど、より安心安全なまちづくりを着実に進めてまいります。

高齢者福祉につきましては、昨年開始いたしましたシニア世代の皆様が生き生きと活動できるような「健康生きがいづくり講座」を、本年はより内容を充実させ開催するなど、福祉の増進を図ってまいります。

このほかにも、スポーツセンターメインアリーナの安全性向上を図る天井等改修工事を行うなど、町民の皆様がいつまでも健康で快適に住み続けることができる環境の整備に努めます。

新しい年を迎え、町民の皆様とともに新たな気持ちで、「笑顔あふれ みんなで育む 元気なまち おおはる」の実現に向け、町政運営に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、ご健勝で幸多き年となりますよう心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

平成30年 元旦

# 新春を迎えて



愛知県知事  
大村 秀章

あけましておめでとうございます。  
新たな年が、県民の皆様方にとりまして、素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、愛知総合工科高等学校専攻科の公設民営化や、遠隔型自動運転システムの実証実験、「あいち航空ミュージアム」のオープンなど、全国初となる取り組み、愛知ならではの取り組みに果敢にチャレンジし、大きな成果を上げるとともに、アメリカのケンタッキー州やインディアナ州、ベルギーの3地域、インドネシアの経済調整担当大臣府とそれぞれ相互協力等の覚書を締結し、海外とのパイプを二層強固にした1年でした。

また、世界に誇る日本のオリジナルコンテンツであるスタジオジブリ作品をテーマとした「ジブリパーク構想」の具体化に向け、大きな一歩を踏み出した年でもありました。

今年も、様々な取り組みを積極的に進め、愛知の総合力に更なる厚みを加えていくとともに、未来へと続く取り組みを、愛知の発展の種として、しっかりと芽吹かせ、着実に育んでいく1年にしてまいります。

そのためには、2027年度のリニア開業に向けた鉄道・道路ネットワークの強化など、中京大都市圏づくりを着実に前進させるとともに、次世代自動車、航空宇宙、ロボット・AIなどの次世代産業の育成・振興、企業立地の促進、中小企業支援、農林水産業の国際競争力の強化、愛知の魅力の発信と観光振興、来年秋開業を目指す国際展示場の整備などに取り組み、愛知の産業競争力を一層強化してまいります。

また、ジブリパークについては、愛・地球博記念公園での2020年代初頭の開業を目指し、夢とファンタジーあふれるジブリの世界を再現したオンリーワンの施設を創り上げていけるよう、しっかりと取り組みを進めてまいります。

そして、こうした取り組み以外にも、認知症にやさしいまちづくりを目指す「オレンジタウン構想」や子どもへの貧困対策の具体的な取り組みの推進、スポーツ・文化芸術の振興、教育・人づくり、地震津波対策や交通安全対策、「環境首都あいち」の取り組み、東三河地域の振興などに力を注ぎ、「日本一住みやすい愛知」づくりを進めてまいります。

今年も、「日本一元気な愛知」「すべての人が輝く愛知」の実現を目指し、県民の皆様は、笑顔で元気にお過ごしただけるよう全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成30年 元旦

